

第35回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】 防災関係について

- ・昨年11月に福島県で、12月に高萩市で大きな地震があった。地震発生を受け、日立市では住民に対し津波の状況など、詳細な情報を流していたと聞いた。しかし、村からは情報が流れなかった。このことを疑問に思い、防災原子力安全課に直接聞いたところ、担当者は謝るばかりであった。
- ・村内に住む職員が少ないと聞いている。原子力施設を抱えているため、災害発生時にすぐに職員の召集をかけられる体制を構築してほしい。

⇒【村長コメント】

- ・担当職員がきちんと説明できなかったことに関して、今後同じことがないように担当者に伝える。
- ・村内に住むことは強制できないが、災害発生時にすぐに職員が集まれるよう、また、積極的に情報発信ができるように努めていきたい。

【2】 「東海村公共施設等総合管理計画」について 「(仮称)歴史と未来の交流館」の説明会について

- ・「東海村公共施設等総合管理計画」の説明会に参加し、また自分自身もそのことについて勉強した。計画は、平成28年4月現在の公共施設しか含まれておらず、それでも管理資金等に余裕はないと聞いた。今後、財政が厳しくなるといわれている中、新しい施設を建設して大丈夫なのか。
- ・先週(4月9日)行われた「(仮称)歴史と未来の交流館」の説明会に参加したが、施設内の使われ方等の説明ばかりで、どのくらいの人が、どのくらいの時間をかけて整備していくのかなど、数量的な話がなく完成までのイメージがわかなかった。
- ・将来、村の財政が破綻しないように事業を進めていってほしい。

⇒【村長コメント】

- ・「東海村公共施設等総合管理計画」は、現状の把握を目的としているため、そこに政策的な内容は盛り込んでいない。計画をただ作成して終わりではなく、その後の進行状況等をきちんと管理する機能を充実させたいと考えている。
- ・「(仮称)歴史と未来の交流館」については、住民がイメージしやすいよう、具体的なランニングコストや利活用などを含め、住民に情報を提供していきたい。

【3】 (1) デマンドタクシーについて (2) 路線バスの停留所について (3) 白方コミュニティセンターの障がい者用トイレについて

- (1) デマンドタクシーの利用については村内限定とされているが、聖麗メモリアル病院(日立市)まで、利用可能にならないか。
- (2) 路線バスの停留所をケーズデンキシーサイドひたちなか店前につくってもらえないか。
- (3) 白方コミュニティセンターの障がい者用トイレの便座を、暖房便座に変えて欲しい(何年か前から依頼しているが、きちんとした回答をいただけていない)。

⇒【村長コメント】

担当課に確認し、実施の有無について連絡させる。

⇒ 【まちづくり推進課コメント】

(1) デマンドタクシーについて

ご案内のとおりデマンドタクシー「あいのりくん」は、村内に住所を有し事前に登録された方を対象に、村内に限り目的地から目的地まで利用できる乗り合い方式のタクシーとして、道路運送法等の関係法令に基づき、国の認可を受けて運行しております。

ご提案いただいた村外エリアまでの運行につきましては、これまでも度々お声をいただいておりますが、国の認可を受ける関係や運行を 30 分間隔としていることから、運行エリアを村内に限定する必要がありますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

⇒ 【まちづくり推進課コメント】

(2) 路線バスの停留所について

平成 27 年度から運行を開始した路線バスは、運行主体が茨城交通（株）で現在 3 路線運行しております。運行するルートやダイヤ、バス停については、茨城交通（株）が採算性や利便性等を考慮し、東海村地域公共交通会議*でも確認し、設定しました。ご意見のありましたケーズデンキ付近（バス停名：ジョイフル本田西）にもバス停はございますが、今後再検討する際の貴重なご意見とさせていただきます。

※東海村地域公共交通会議とは

住民団体や関係機関の代表者で構成する委員会で、公共交通の維持・確保に関することなどを協議しています。

⇒ 【自治推進課コメント】

(3) 白方コミュニティセンターの障がい者用トイレの便座について

各コミュニティセンターについては、平成 30 年度より、古い順に内装工事を予定しております。白方コミュニティセンターは、平成 31 年度の工事を予定しており、その際に、暖房便座の導入を検討していますので、ご理解の程、よろしくをお願いいたします。